

国際自動車整備科 2023年度 授業計画

時期	1年後期	単元	実習	教科名	電装実習 4	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	配線図集	発行日	2020年12月15日	
			実習ノート			
総時間	20時限(32時間)		レポート用紙	教科担当	教科担当	

1. 実務経験のある教員による授業科目 **該当** 非該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の分解・組立・点検等について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

自動車整備士の学習に必要な基礎知識、技術を指導する

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. 自動車整備に必要な用語を知る
2. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる
3. 自動車整備に必要な部品の作動を実物で確認する。また、作動を日本語で説明できる
4. 自動車整備に必要な整備機器の取り扱いができる。
5. 自動車整備士として必要な安全知識を得る。
6. 自動車整備を行う上で必要となる協力作業を理解する。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

実技試験で60点以上を合格とする。

5. 準備学習

毎回の授業開始前までに、授業で進む予定のところまでルビを振るなど、声を出して読めるようにしておくこと

国際自動車整備科		2023年度 授業計画			
時期	1年後期	単元	実習	教科名	電装実習 4
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
1	ヒューズ、ヒューズブル・リンクの働きについて	バッテリー・配線・ヒューズを準備し、実際にショートが起こると配線が燃えることを確認させ、ヒューズの必要性を認識させる			
2	各回路の測定	電圧測定と抵抗測定の違いを説明する理解不足によりテストのヒューズを飛ばす学生が頻発す			
3	故障診断	ヒューズ・配線・各ランプの断線を作り、電圧分布や抵抗確認の結果から、何が故障しているのかを見つけ出す考え方を理解させる			
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)					
実習場			座学教室		